

共創時の音声コミュニケーションと響きあい

分類：卒研

論文

制作年度 2021 年度

課題概要：研究

The Relationship between Phonetic Communication and the "Resonance" during Co-creation

七條花恋 SHICHIJO Karen 入学年度 2018 年 | 所属学科等 Department of Industrial Design

01.

はじめに

「響きあい」とは

2 者以上の中で、

- 共有された心象を形成

創造的心理状態

- 「心に響く時間」と言われる
- 創造の喜びや興奮を経験している状態を互いに刺激し共鳴している状態。

1) 田浦ら, 2010



「響きあい」 ▶ 個人の創造性 ともに高める可能性¹⁾²⁾³⁾
集団の創造性

なんらかの関与により「響きあい」発現を促すことはできないか

音声コミュニケーションに着目

1) 田浦ら, 2010 2) 三浦ら, 2002 3) 東海林, 2020

02.

研究方法

共創ワークのデータ³⁾を使用

- ワークの映像記録

- 創造的心理状態推移
- 響きあい発現タイミングデータ

3) 東海林, 2020

分析対象区間

響きあい発現区間 (HHwRR)

響きあい非発現区間 (HHwoRR)

3 観点から評価・比較

①

共創

ワークの推移

②

言語

的要素⁴⁾

③

近言語

的要素⁴⁾

4) 日本社会心理学会, 2009

03.

結果・考察

本研究では響きあい発現区間と非発現区間を 3 観点より評価・比較しているが、紙幅の制限により②言語的要素の一部についてのみ結果考察を示す。

03-1.

②言語的要素から

映像をもとに各発話にワーク上で果たした機能に応じたタグ⁵⁾付けを行い、主成分分析にて次元縮約後、主成分負荷量を用いてクラスター分析を行った結果、5 つの機能タググループ TG (停滞 TG_A、質問や対立意見 TG_B、躊躇・真剣・案上乗せ TG_C、発案 TG_D、相手発言への好意的な反応 TG_E) に分類された。

TG	停滞
A	Move Support for move

ex.
A: まじで色々ある
うん うーん そうね
B: どう しょうか
でも 5 分くらい経った

TG	質問 / 対立意見
B	Question Block Overcoming Deflection

ex.
B: あの アー アーチスタフォルモも
画材に入るのかな?
A: どうなんだろう?
画材屋さんに売ってる?

TG	躊躇 / 真剣 / 案上乗せ
C	Hesitation Humor Yes and

ex.
A: やなんか
なんだろう
んー
似てるものではあるよね 天気と画材

TG	発案
D	Move

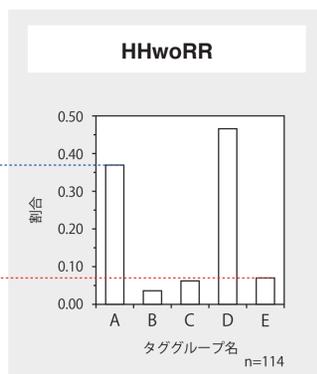
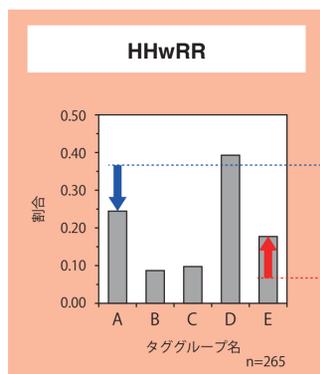
ex.
B: こっちだったらさ (中略)
天気って空の色を描いてる
A: 空を
B: けど雲を描くって面白いと思った

TG	好意的な反応
E	Support for move

ex.
A: 何も無いレイヤー重ねてみたいなこと
B: うんうん
A: 表現できる
B: 良さげ

5) N. S. Sonalkar, 2012

響きあい発現区間 HHwRR 及び響きあい非発現区間における機能タググループ種別の出現割合は以下の通りとなった。



HHwRR では HHwoRR と比較して

カイ二乗検定及び残差分析より

- TG_A

+ TG_E

($p < 0.05$)

HHwRR ← 比較 → HHwoRR

HHwRR

+ 相手の発言に対する「好意的な」コミュニケーション

- 前進のみられないコミュニケーション

04.

最後に

本研究の限界 / 今後の研究

音声コミュニケーションと「響きあい」発現の間の因果関係は未検討

→ 今後の研究によって明らかにされることが望まれる

デザインへの貢献可能性

響きあいを促すコミュニケーションを突きとめる際の手がかり

→ 共創の喜びや個人および集団の創造性の向上に貢献する